

NI-Youth が谷津遊路商店街の秋まつりに参加しました 外国への興味と支援を実現したワークショップ

金井勇樹(NI-Youth)

10月29日(土)、京成線谷津駅南口の前にある谷津遊路商店街で秋まつりが開かれました。NI-Youth はこれに参加して「wakaruta」のワークショップを行いました。

wakaruta とは NIA の会員でもある平野だいさんが発案したもので、難民をはじめ日本語を第一言語としない人々を対象とした、日本語学習支援プロジェクトです。私たちが日常で使う「これを知らないで困る言葉」を日本語で、その読みを他言語の文字で1枚に記載したカードを、こどもたちが作り、日本語学習や日常生活で役立ててもらおうというものです。

今回はウクライナ支援を目的として、ウクライナの文字の発音表を使ってワークショップを行いました。ワークショップに参加した子どもたちは、自分たちの学校にウクライナから転校生が来たことを想定して、日本の学校生活で「これを知らないで困る言葉」を考えてカードを作りました。実際の場面を想定しながら考えることで、日本に来た外国籍の人を思いやるきっかけになったと思います。

またウクライナという言葉を書くことで、文字の難しさに苦戦しつつもウクライナ語に興味をもったようでした。

このワークショップで集まった寄付金は、同時に行った絵はがきと缶バッジ販売の売り上げとともにウクライナ支援にあてられます。また、参加者が作ったカードはウクライナの方の日本語学習の支援に使われます。参加することでその国に興味を持つきっかけになるとともに、支援にもつながる素晴らしい企画だと感じました。



wakaruta のワークショップ